

第2学年理科

評価の観点		評価規準		評価の方法							
①知識・技能		自然の事物・現象の基本的な概念や原理を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。		<ul style="list-style-type: none"> ○定期テスト(知識・技能分野) ○小テスト ○実技テスト(観察・実験の技能) ○観察・実験の記録(プリントの結果記入内容) ○自由研究(夏季休業中の自由提出課題) 							
②思考・判断・表現		自然の事物・現象について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、自然の事物・現象についての規則性や関係性を見出して表現しているなど、科学的に探究している。		<ul style="list-style-type: none"> ○定期テスト(思考・判断・表現) ○小テスト ○観察・実験の技能(プリントへの考察記入内容) ○授業中の発言内容 ○グループ活動のようす(積極的に発言・作業をしているか) 							
③主体的に取り組む態度		自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。		<ul style="list-style-type: none"> ○授業中の活動(挙手回数・発表回数、忘れ物の状況、観察・実験に取り組む態度、授業プリントの記入内容) ○提出物(期限を守り取り組んでいるか) ○確認テスト(長期休業中の課題へ取り組む態度) ○振り返りカード(自分の授業の振り返り内容) 							
家庭学習における教科からのアドバイス											
<ul style="list-style-type: none"> ・授業で習った内容の範囲の問題を、その日のうちにワーク等で復習する。 (授業で覚えた知識を問題を解く能力に変える。) ・普段の生活から、興味のある事柄を調べてみる。 											
指導計画											
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
生物の体のつくりとはたらき(生命)			化学変化と原子・分子(物質)		化学変化と原子・分子(物質)		地球の大気と天気の変化(地球)			電流とその利用(エネルギー)	